

平成9年10月8日

第一勧業銀行  
会長・頭取 杉田力之 殿

社団法人日本建築家協会（J  
関東甲信越支部支部長 齋藤  
保存問題委員会委員長 兼松



### 誠之堂及び清風亭の保存に関する要望書

拝啓 時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

貴行におかれましては、開国以来、近代日本の金融機関の中心的な存在として、我が国の経済をリードされると共に、日本文化を形成されて来られました事に深く敬意を表します。

また、日頃より本会会員に対して格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴行が聖マリア学園構内に所有される誠之堂は、貴行の創立者渋沢栄一翁の喜寿を、清風亭は、二代佐々木勇之助頭取の古稀を記念して大正期及び昭和初期に建てられたもので、貴行にとりましても貴重な建物であると存じます。

近年日本経済の発展に伴ってスクラップ&ビルトの風潮が高まり、近代建築が次々と壊されていく中、当時の建築様式をそのまま伝える数少ないこれらの建物を存続・継承されてきた事に敬意を表します。

過日建物を拝見させていただきましたが、聖マリア学園のテニスコートの前の樹林の中にしっとりとなじんで存在し、時間を経てきた建物の持つ魅力を改めて実感致しました。この度、両建物の解体を検討しておられると聞き及びましたが、今私達がこの建物を失う事は日本の近代建築の成果にとって、大きな損失である事は疑いの余地がありません。そして一度壊れた建物は二度と取り戻す事はできません。

私共JIAの保存問題委員会は、市民に愛され、使い続けられて来た建物を大切に、それに値する建物を創る事を理念として活動しております。

両建物が学園内に存在するために、一般市民の目に触れる機会が少なく、また貴行と学園との間でどのような使われ方をされているか寡聞にして存じませんが、時代を経て来た建物は所有者のものであると同時に市民のものであり、ましてや貴行の開祖を記念するだけでなく、建築史上も極めて重要度が高い建築物であり、これ等を保存してゆく事は私達現在に生きている者の責務であるとも云えるのではないのでしょうか。

広く市民にその存在を公開し、貴行あるいは学園の施設として使い続けられる事を強く要望致します。

又、両建物を存続、継承していくために、文化財登録制度の登録のご検討も合わせてお願い申し上げます。

幸い貴行のご努力により保存状態は良好ですが、保存、活用等について、私共も出来る限りの協力と支援をさせていただきます事を申し添えます。

敬具